

設計業務従事者にもおすすめの 監理技術者講習受講のご案内



はじめに

公益社団法人日本建築士会連合会は、平成27年6月22日に国土交通省より監理技術者講習の登録講習機関として認可を受け、全国各地で講習を行っております。本講習は、監理技術者が現場に配置される際、直近の5年以内に受講が課せられている法定講習ですが、設計者にとっても施工の現状を学べる有意義な講習であり、建築士会CPD認定講習でもあることから、設計業務にのみ従事する方にも学習を目的として受講をおすすめしております。

設計業務の方の 監理技術者講習受講 メリット

・ 建築工事全体について学習できる

→これまで不明瞭であった建築工事全体の流れについて学習できるので設計業務の参考になる。

・ 建築工事に係るトラブル事例のほか、時事問題や最新技術・材料について学習できる

→受講者は、専用ページから受講後5年間いつでも最新のテキストデータを入手できるため、常に最新の情報に対応できる。

・ 工事入札や入札資格審査等に役立つ建築士会CPD単位が6単位+年間推奨単位(12単位)以上が取得できる！！

→受講者かつ建築士会CPD会員の方は、連合会誌「建築士」のCPD連載講座と同様に専用のWEBページから設問に正答することでCPD単位が取得できる。(講習単位6単位、さらにWEB問題で**年間推奨単位(12単位)以上の単位取得が可能**) ※建築士会CPDを加点対象としている機関については日本建築士会連合会HPをご確認下さい。 <http://www.kenchikushikai.or.jp/cpd-new/katsuyo.html>
以上の利点から監理技術者講習を、設計者をはじめとした監理技術者以外の方が学習目的で受講されても十二分に役立つ講習としておすすめ致します。

建築士会が行う
監理技術者講習の
特色

・ 建築に特化された内容になっている

⇒**建築施工系技術者育成に主眼をおいた構成**。(従来は監理技術者全般(土木も含む)に対しての内容)

⇒建築施工系に従事する監理技術者に向け、**より建築施工実務に役立つ内容**。

⇒現場技術者にとって大切な1日が**建築技術育成に役立つ有意義な1日となる内容**。(従来は監理技術者講習修了履歴ラベル交付目的の為だけに受講している感がある)

・ 建築士会のテキスト

①**現役のスーパージェネコン在籍者等によって執筆**されている。

⇒机上の理論でなく建築技術に対して最新の情報が網羅されている。

②**具体的トラブル事例**が各単元に分けて解説された内容になっている。

⇒監理技術者に関わるトラブル事例、品質事故トラブル事例、労働災害、第三者災害トラブル事例、環境事故トラブル事例

③品質管理では「要求事項の把握」「工事材料の規格」「品質に関わる各種検査」「工事記録の管理と保存」「住宅建設における品質確保」など各単元に分けて**品質に関連する最新の情報を含んだ解説**となっている。

⇒**タイル工事**・検査の項目では超高压水洗の密度や深さについて見本施工での合意。

・平成25年公共建築工事標準仕様書に追加された界面破壊率の規定等を記載。

④**最新技術と材料の動向**では「施工合理化・品質向上技術」「防災技術」「環境技術」など各単元に分けて**最新技術の内容について解説**が行われている。

⇒**改正耐震改修促進法、長周期地震動対策、事業継続計画(BCP)、天井材・外装材の耐震、避難安全検証と耐火検証**などについての解説。

⇒現場技術者に求められる技術営業にも役立つ最新の技術情報。

⑤受講後5年間いつでも**テキストの最新版を受講者専用HPからダウンロードで入手可能**。

⇒必要箇所のテキストデータをタブレットなどにダウンロードして活用が可能。

・ 講習受講6単位+WEB問題を年間通して解答すると建築士会CPD12単位=18単位以上が取得可能！！

■ 講習開催日程と会場 ※申込締切は各講習日の10日前迄。



平成30年 2月22日(木)

会場/千歳市共同利用施設 労働会館 (千歳市東雲町3丁目1番地)

■ 受付9:00～ 説明9:20～
講習+試験9:30～17:30
※本講習はDVD講習です。

+++ 注意事項 +++

- 本講習を受講しても、監理技術者にはなりません。監理技術者の資格取得を検討される方は建設業技術者センターのHPをご覧ください。
<http://www.cezaidan.or.jp/managing/procedure/index.html>
- CPD単位は、講習を修了した方に付与されます。また、専用ページへのログインは日本建築士会連合会が交付する講習修了履歴ラベルに記載の修了証番号がないとログインできません。
- 講習修了履歴ラベルの交付は、全ての講義と試験の終了後に交付いたします。ただし、申込期限を過ぎて申込・受講された方には講習修了2週間後にお送りいたします。また、当日、遅刻・早退・途中退席のあった方へは交付できません。

9:30～13:05 (休憩 15分含む)	9:30～建設業界の現状 10:10～監理技術者制度と責務 11:00～施工計画と施工管理 11:50～品質管理
13:05～13:55	お昼休憩 (50分)
13:55～16:40 (休憩 10分含む)	13:55～安全衛生管理 14:25～環境管理 15:05～最新技術と材料の動向
16:40～17:00	試験・修了履歴ラベルの交付

郵送申込み方法

① 建築士会窓口または日本建築士会連合会HPより申込用紙を入手

② 申込書の作成
・金融機関への受講料払受付証明証を貼付

③ 申込書を日本建築士会連合会へ郵送

④ 受講票の受領
(日本建築士会連合会から受講票をメール送信)

WEB申込み方

① 日本建築士会連合会HPにアクセス

② 申込みページより必要事項を入力し送信

③ 受講料払込
(金融機関への払込、コンビニ払い、クレジットカード)

④ 受講票の受領
(日本建築士会連合会から受講票をメール送信)

受講料

WEB申込みの場合 1名 9,500円 | 郵送・窓口申込みの場合 1名 10,000円

詳細は (公社) 日本建築士会連合会ホームページをご覧ください!

<http://www.kenchikushikai.or.jp/torikumi/news/2015-07-28-2.html>

受講申込みがますます便利に!!

- ・ 顔写真の提出が不要!!
- ・ WEB 申込の場合、クレジットカード決済、コンビニ払いができるようになり、忙しい方でも、すぐに受講申込手続きが完了いたします。



【お問い合わせ・お申込み先】 公益社団法人日本建築士会連合会「監理技術者講習本部」

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 TEL 03-3456-2061 メール kanri@kenchikushikai.or.jp

【運営】 一般社団法人北海道建築士会

ホームページ <http://h-ab.com/> メール honbu@h-ab.com

〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目1番地 大五ビル6階 TEL 011-251-6076

